

- 〈主な事業〉
- ・健康診査事業
  - ・認知症サポーターの養成
  - ・高齢者保健福祉計画「第4期介護保険事業計画」の策定(改訂)
  - ・「たかしま」(ごもみさい)

あくしよん・ぷらむ

- 後期計画策定
- ・子育て家庭への支援策の充実
  - ・民間保育園の改築支援
  - ・子ども家庭相談事業の推進
  - ・女性のための悩み相談室の開設
  - ・第2期障害福祉計画の策定
- (計画期間：H21年度～23年度)

## 自然共生型の産業づくり

(産業振興)

豊かな自然の農山村を、環境負荷の少ない循環型社会として、安全で良質な食料、おいしい水、きれいな空気などの緑を基盤として、地域資源を有効かつ適切に活用する方策としてまいりたいと考えています。また、市外の理解者との協働、連携により「水源の森と里」を守る取り組みを推進します。

商工・観光とも民間の活動が肝要であり、商工会や観光協会また物産振興会等関係団体の連携により実のある事業が推進できるよう、行政としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

地元企業の振興支援や企業誘致については、新たな制度の拡充も

図り、強化します。

〈主な事業〉

- ・有機栽培農業の推進
- ・学校給食への地場産食材の提供
- ・獣害対策事業
- ・「水源の森と里」を守る取組推進
- ・高島地域材流通促進事業
- ・水産振興事業
- ・特産品販売促進事業
- ・住宅リフォーム推進事業
- ・全国工コソリス大会

高島大会開催

## 水と里山を活かした環境づくり

(環境整備)

地域に根付く文化を学び、自然と人の関わり方、地域資源を生かす知恵や技術を見出しながら、定住するにふさわしい個性的で魅力ある環境を創造していくためには、地域環境だけでなく地球環境を視野に入れた循環型社会への転換を目指し、日常生活や事業活動のあり方を検証、改善していくとともに、安心して暮らせる地域社会の実現に向けての防災、地域安全の取り組みを進めていきます。

〈主な事業〉

- ・CO2削減計画
- ・(2003年度時点)で50%削減
- ・市営住宅の適正な維持管理
- ・安全で安定した水道水の供給
- ・水道経営の基本計画の策定
- ・公共下水道未整備地区の

管渠築造工事推進

・ごみ減量20%事業

(5R運動)の推進

- ・「省エネルギービジョン」策定
- ・地域防災力の向上推進

## 未来を託す基盤づくり

(都市基盤整備)

地域内の連携と地域間交流を高める交通ネットワークの強化対策については、高島バイパスをはじめとする長年の懸案事項に解決の道が開かれました。しかし、まだまだ基盤整備の面では整備途上にあるとの認識から、今後、JRR湖西線の運行ダイヤ増強や国道・県

道等の整備促進について関係機関等に対し強く要望してまいります。

市道整備や地域内公共交通網の整備については、目的や効果、財源等を十分参酌しながら引き続き取り組んでまいります。

〈主な事業〉

- ・県道の改良整備を促進
- ・市道上戸線・市道泰山寺中野線ほか6路線の道路改良
- ・市道平井藁園1号線用地の収用
- ・都市計画マスタープランの策定
- ・大学と連携した地域公共交通の共同研究
- ・情報通信基盤整備の促進
- ・地域情報の受発信の仕組みづくり

## 【主要プロジェクト】

総合計画で位置づけております各分野を横断的に貫く政策的、戦略的プロジェクト、すなわち「若者の定住促進」・「食育推進」・「エコソリズム推進」の3つの主要プロジェクトについては、関係部局連携のプロジェクトチームにより引き続き取り組みを進めてまいります。

## 若者の定住促進プロジェクト

総合的な子育て環境の向上に取り組むとともに、「高島ならではの特色ある教育」の展開により、

めてまいります。

なお、これら多くの施策や事務事業の実施にあたり、その執行体制の充実と柔軟で機動的な運営が必要で、新年度は、定員削減計画により一般職員が前年度より38人純減し、合併当初と比べ約90人の純減となる見込みであり、支所業務の本庁への移管等による支所機能の見直しを進めています。事務事業の更なる検証・仕分けにより、不要不急な事務の見直しや統廃合を進めるとともに、グループ制の機能発揮と適正な人事評価による職員モチベーションの向上、また施設関係の管理体制のスリム化等人員配置の適正化を図ります。



よつな働きかけを、機会をとらえて実施する計画です。

なお、昨年より全国的な政策潮流として浮上してきました「水源の里対策」すなわち「限界集落対策」については、モデル的な移住・交流受入システム支援事業に取り組み、若者定住プロジェクトとも連動した具体的な定住促進を試行します。

## 食育推進プロジェクト

高島の食文化の学びが子どもを中心に家庭や地域に広がるよう、引き続き就学前からの取り組みにも力を入れてまいります。また、食育推進会議を開催するなど広く市民、有識者の参画を得て、健康・農林水産・教育・環境などの分野を食でつなぎ、ネットワーク化を図るとともに、環境に配慮した安全な食物の生産が高島の地域ブランドとなるような取り組みを推進します。

## エコソリズム推進プロジェクト

環境や景観面から地域のブランド力を高め、本市の理解者を生み出し、地域を支える新たな力を生み出すとともに、高齢者の知恵や経験をガイドなどの観光ビジネス部門に活かすことで、その活躍の

なお、支所においては、職員数の削減は不可避ですが、職員一人ひとりが市民の気持ちに寄り添って適切かつ迅速に対応できるように、一層の職員能力開発に努めるとともに、適材配置についても十分配意してまいりたいと存じます。

## 新年度

予算は、貴重な基金を8億円余り取り崩すことで何とか編成することができましたが、年度末における財政調整基金の残高は10億円余となる見込みで、市の財政は依然大変厳しい状況から脱してはけません。市民の皆さんにはこれらの状況を正確にお伝えし、ともに考えていただくと同時に、未来に希望を持つことのできるまちづくりへの積極的なご参画、ご協力をお願いしてまいります。

4年目を迎えるにあたり、「合併してよかった」「合併したからこそ安心感が強まり、高島の存在価値が高まった」と、現在の市民の皆さんにも、未来の市民にも言うていただけるように、総合計画に謳う「『お互いさま』と『おかげさま』が対流する『環の郷たかしま』の実現」に向けて、多方面から計画的に魂をこめて取り組んでまいりますので、皆様の理解、ご協力、そして何よりご参加、ご参画の程、よろしくお願い申し上げます。